

能登半島地震 復興支援ニュース

CO-OP



せいきょうから、あしたへ

発行：全国生協災害対策本部

編集：日本生協連渉外広報本部

アドレス: pr@jccu.coop

2024年1月26日発行 NO.7

◆現地での支援メンバーの活動の様子を発信するニュースです◆



1/24、全国から支援に来ている生協職員が、能登北部の配達を再開する組合員にカタログを配布するため、雪深い中、乗用車（レンタカー）で出発する準備をし（上）、組合員宅を訪問しました（右）。



のと北部センターでの配送再開に向けて、道路状況の確認をしています（上）穴水町での再開に向けて、利用を希望する組合員へのカタログ配布が始まりました。配送休止のお詫びとともにお見舞いの気持ちをこめてカイロや水などもいっしょにお届けしています（下2枚）。

*コープいしかわ部内報『リリヤン』より

配送同乗や電話かけなどで支援に入っている全国の生協職員の報告から抜粋してご紹介します。

※1/15の報告より

- 組合員の皆さん、つらいはずなのに笑顔で明るく話されていたことが印象的でした。断水で洗濯と、特にお風呂が困っていると伺いました。
- 自分が伺った地域は比較的被害は少なかったように感じました。ただ組合員さんは疲れ切っている方が多いように見受けられました。
- 同乗した（コープいしかわの）職員さんも被災されている状況で、しっかりとお仕事されていて、えらいと思いました。組合員さんからは「大変な中ありがとうございます」と声をいただきました。
- 商品を頼んだ方が良いのか頼まない方が良いのか悩んでいるとのこと。本当に困っている人を優先してほしいと言われた組合員さんがいました。
- 被災されて他県の親類を頼り、（高齢のためか）能登での生活をあきらめる（あきらめさせられる）ような内容の申し出を3件ほど受けました。

CO-OP



のとセンターで宅配の同乗支援を受けたコープいしかわの職員の声です。同乗支援が心の支えにもなりました。

*コープいしかわ部内報『リリヤン』より

一週間、無事に終えた事にホッとしてます。横乗りにも乗ってくれた大木さん、小池さんにまずは感謝です。いろんな話をしたり、助けを頂いたりと、私自身が勇気をもらいました。組合員さんとも、一緒にお話ししたり、今の状況を一緒に共有したりと、すごくいい経験でした。また来週、行った時に組合員さんと笑顔で会いま様に頑張ります。

コープ神戸の福山さんとペアで、コースをまわりました。37才同級生ということと意気投合し、車中では仕事からプライベートまでいろんな話をしました。福山さんがいなかったら、心細くて一人ではべがもたないなと思いました。本当に助かりましたし、心からありがとうございます。言いたいです。

